MEGUROスマートスクール・アクションプラン改定素案　概要版

第１章　計画の全体像（本編 p.4～p.8）

1　計画策定の背景（本編 p.5）

本区では、第１期MEGUROスマートスクール・アクションプランに基づき、ICT環境整備と教育活動におけるICT活用を推進してきた。

一方、生成 AI をはじめとする先端技術の急速な進展により、社会や学校教育を取り巻く環境は大きく変化してきている。こうした中、情報や技術を適切に活用しながら、新たな価値を創造する資質・能力の育成が重要となっている。

第2期MEGUROスマートスクール・アクションプランでは、子どもたちが多様な情報技術を効果的に活用し、「深い学び」を実現できるよう、学校教育の情報化を一層推進していく。

2　これまでの取組成果と今後の方向性（本編 p.6）

本区では、GIGA スクール構想に基づく1人1台端末や校内通信環境、大型提示装置の整備など、学校のICT基盤の充実を進めるとともに、デジタル教材やクラウドサービスの活用を推進してきた。

また、ICT を活用した校務の効率化や教職員支援による、働き方改革にも取り組んできた。

一方で、子どもたちの多様な学習ニーズへの対応や、先端技術の活用等を通して、「主体的・対話的で深い学び」のさらなる充実が求められている。

第２期の計画では、第１期において整備したICT環境活用の深化を図るとともに、生成 AI をはじめとする先端技術への対応を進めていく。

3　計画の位置付け（本編 p.7）

区の長期計画の補助計画である「めぐろ学校教育プラン」の情報分野における具体的な行動計画である。施策の展開に当たっては、国の計画や各種関連する補助計画等と整合を図る。

4　計画期間（本編 p.8）

令和9(2027)年度から令和13(2031)年度までの5年間とする。

第２章　目標（本編 p.9～p.11）

1　計画で目指す姿（本編 p.10）

本プランでは、ICTを活用することで、「めぐろ学校教育プラン」が目指す子ども像「持続可能な社会の創り手となる人間性豊かなめぐろの子ども」及び学校像「魅力と活力にあふれ、信頼される学校」の実現を支える。

2　４つの目標（本編 p.11）

学習指導要領や国の学校教育情報化の考え方も踏まえ、第１期 MEGURO スマートスクール・アクションプランに引き続き「児童・生徒」、「教員」、「働き方改革」、「ICT環境整備」の４つの視点から目標を設定する。

目標１【児童・生徒の視点】

ICTを活用した児童・生徒の資質・能力の向上

学習用情報端末を日常的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の学習を充実させ、「深い学び」を実現していきます。

目標２【教員の視点】

教員のICT活用指導力の向上と支援体制の充実

教員のICT活用指導力向上により、「深い学び」の視点に立った授業改善ができるように、教員を支援していきます。

目標３【働き方改革の視点】

校務の情報化の推進

ICTを活用した校務環境の整備と業務改善を進め、教職員の事務負担を軽減し、より効果的に教育活動を行うことができる学校運営を推進していきます。

目標４【 ICT環境整備の視点】

安全・安心にいつでも使えるICT環境の整備

安定したネットワークと堅牢なセキュリティを整備し、場所を問わず安心して利用できるICT基盤を構築します。

第３章　基本方針と施策（本編 p.12～p.27）

1　７つの基本方針（本編 p.13）

本プランの4つの目標を達成するために、７ つの基本方針を掲げる。

目標	基本方針
目標１【児童・生徒の視点】 ICTを活用した児童・生徒の資質・能力の向上	1 情報活用能力の育成 2 支援を要する児童・生徒へのICTを活用した学びの充実
目標２【教員の視点】 教員のICT活用指導力の向上と支援体制の充実	3 ICTを活用した指導力の向上 4 学校サポート体制の充実
目標３【働き方改革の視点】 校務の情報化の推進	5 校務DXの推進
目標４【 ICT環境整備の視点】 安全・安心にいつでも使えるICT環境の整備	6 新しい時代の学びを支えるICT環境整備 7 情報セキュリティの向上

2　具体的な施策内容（本編 p.14～p.27）

7つの基本方針の内容に基づき、25の具体的な実施策を策定する。

(1)方針1　情報活用能力の育成

- ■ ICTの活用を通して「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行う。
- ■ 児童・生徒の発達段階に応じて情報活用能力を育成することで、情報モラルをはじめとする、情報社会において必要な知識を獲得し、正しい判断や態度の下で情報技術を自在に活用し問題の発見・解決、自分の考えを形成できる状態を目指す。

(2)方針２　支援を要する児童・生徒への ICT を活用した学びの充実

- ■ 児童・生徒一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばせるよう、ICTを活用した学びを充実させることで、教育的課題やニーズに応じた授業及び学習環境の提供を目指す。

(3)方針３　ICT を活用した指導力の向上

- ■ 教員が、児童・生徒のICTを活用した学びの支援をできるように、ICTについて学び続けられる環境の整備を目指す。

(4)方針４　学校サポート体制の充実

- ■ ICT活用に係る支援体制の充実を図り、教員の ICT 活用に伴う負担軽減を目指す。

(5)方針５　校務 DX の推進

- ■ 校務の効率化（DX 化）を進めることで、教職員の事務負担を軽減し、教職員が子どもたちと向き合う時間や教職員同士が指導方法について検討する時間を確保できる環境づくりを目指す。

(6)方針６　新しい時代の学びを支える ICT 環境整備

- ■ 教職員・児童・生徒が「いつでも」「どこでも」「だれとでも」安全にICTを活用できる環境を整備する。
- ■ クラウド環境や生成 AI などの先端技術の活用にも柔軟に対応できるICT環境を構築し、児童・生徒の「深い学び」を支える環境の実現を目指す。

(7)方針７　情報セキュリティの向上

- ■ 児童・生徒が安全かつ適切にICTを活用できる状態を目指す。
- ■ 教職員に対する研修の充実やセキュリティ対策の強化を図り、学校全体の情報セキュリティが継続的に確保・向上される状態を目指す。

※プランの体系と具体的施策

目　標（４）	基本方針（７）	具体的施策（２５）
【児童･生徒の視点】 **ＩＣＴを活用した児童・生徒の資質・能力の向上**	1 情報活用能力の育成	① デジタル教科書の活用 （本編 p.14） ②プログラミング教育の実施 （本編 p.14） ③情報モラル教育の実施 （本編 p.14） ④生成ＡＩの利活用を含む学習指導の充実 （本編 p.14）
	2 支援を要する児童・生徒への ICT を活用した学びの充実	⑤特別な支援を要する児童・生徒に対しての効果的なＩＣＴ活用の研究と実践 （本編 p.16） ⑥不登校や不登校傾向にある児童・生徒に対するオンライン学習やオンライン相談の実施 （本編 p.16）
【教員の視点】 **教員のＩＣＴ活用指導力の向上と支援体制の充実**	3 ＩＣＴを活用した指導力の向上	⑦ＩＣＴ機器を用いた研修やオンデマンドでの研修実施 （本編 p.18） ⑧教員の指導力向上のための研修実施 （本編 p.18） ⑨指導主事訪問による指導・助言 （本編 p.18）
	4 学校サポート体制の充実	⑩ＩＣＴ活用支援の標準化と学校間展開の推進 （本編 p.20） ⑪オンラインヘルプデスクの本格整備 （本編 p.20） ⑫現場課題・要望の収集体制強化 （本編 p.20） ⑬業務効率化に向けた活用ガイド整備 （本編 p.20）
【働き方改革の視点】 **校務の情報化の推進**	5 校務 DX の推進	⑭校務における生成ＡＩの利活用推進 （本編 p.22） ⑮クラウドツールの活用推進 （本編 p.22） ⑯保護者連絡ツールによるデジタル化の推進 （本編 p.22） ⑰教育データ利活用の推進 （本編 p.22）
【ICT環境整備の視点】 **安全安心にいつでも使えるＩＣＴ環境の整備**	6 新しい時代の学びを支えるＩＣＴ環境整備	⑱学校システムの最適化 （本編 p.24） ⑲次世代校務ＤＸ環境の構築 （本編 p.24） ⑳ＧＩＧＡシステム更新 （本編 p.24） ㉑学習活動における生成ＡＩ利活用環境整備 （本編 p.24）
	7 情報セキュリティの向上	㉒情報セキュリティ研修の充実 （本編 p.26） ㉓実践的訓練によるセキュリティ強化 （本編 p.26） ㉔ゼロトラストセキュリティ環境下での運用整理 （本編 p.26） ㉕学校向け生成 AI ガイドライン整備 （本編 p.26）

巻末資料（掲載予定）

１　用語解説
本プランに係る用語の説明

２　学校の ICT 環境に係る参考アンケート
教育委員会が実施した学校のＩＣＴ環境に係るアンケート結果